



大学紹介



中央大学は1885年に（英吉利法律学校として）設立。8学部、大学院8研究科、専門職大学院2研究科、4附属高等学校、2附属中学校と9研究所で構成されています。在籍者は、学部学生26,381名、大学院学生1,106名、専門職大学院生534名となっています。（2025年5月1日現在）

事業概要

知財の活用、産学官連携等は、研究支援室が担当しています。



本学では、研究及び教育に有意義であり、かつ社会的倫理に反しないと認められる受託研究または共同研究を受け入れています。本学における受託研究・共同研究の定義は、下記のとおりです。

受託研究

本学の施設・設備等の財産を使用して実施する研究、調査又は分析等の活動のうち、学外機関から特定の課題についての委託を受けて実施するもので、これに要する経費を学外機関が負担するもの。

共同研究

本学の施設・設備等の財産を使用して実施する研究、調査又は分析等の活動のうち、学外機関と共通の課題について共同で実施するもので、原則として研究経費を学外機関が負担するもの。

連携の流れ




出展研究者紹介

理工学部 精密機械工学科 バイオメカトロニクス研究室
助教 伊藤 文臣
<https://sites.google.com/view/fumioito/>
今回の展示は、
テッポウエビに学ぶ水中作業の革新技術！

テッポウエビの高速運動に学び、空気圧人工筋肉によって水中で強力なキャビテーションを発生できるロボットを開発しました。安全・軽量の構造は水中ドローンを始めとする無人機への搭載や狭所作業にも適しており、水中における洗浄や工事などに利用できます。産業応用に向けた企業との共同研究を希望しています。

想定される用途

- ① 下水・工場排水エリアの水底汚染除去
- ② 港湾・ダム・橋梁など水中構造物の洗浄
- ③ 水環境保全・水棲外来生物の駆除

事前聴講申込受付中！ 締切(R7年11月25日(火)16時)迫る！

(公財)埼玉県産業振興公社 主催

第4回 産学連携シーズ発表会で講演 ～エレクトロニクス・製造分野～

YouTubeを利用した視聴者限定配信です。録画された複数の講演(各10分～15分)を視聴します。

接合での困りごとを解決！ 常温・原子レベル接合技術 理工学部 電気電子情報通信工学科 教授 庄司 一郎

常温接合とは、真空中でアルゴン原子ビームを材料表面に照射して活性化し、材料同士を原子レベルで接合する、接着剤フリーの革新的な技術です。高温プロセスを介さないため、熱膨張率の異なる材料同士も歪みを発生させずに接合でき、シャープで高品質な接合界面が得られます。私たちの研究グループでは、レーザー材料とヒートシンク用ダイヤモンドとの接合等を行っています。光学材料に限らず、さまざまな材料の複合化への応用が期待されます。

詳細は、(公財)埼玉県産業振興公社 産学・知財支援グループまでお問合せください。

E-mail : sangaku@saitama-j.or.jp

本学開発技術、共同研究・委託研究に関するお問合せ・ご相談など、お気軽にご連絡ください！

産学連携窓口 中央大学 研究支援室

工藤・臼見・小名（産学連携担当）、木幡（広報担当）

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

TEL 03-3817-1674 / FAX 03-3817-1677

E-mail : ksanren-grp@g.chuo-u.ac.jp

URL : <https://www.chuo-u.ac.jp/>



中央大学の研究や産学官連携事例は、

オンラインプラットフォーム「+C」(プラスシー) もご覧ください。

<https://plus-c.chuo-u.ac.jp/>

